

ひょっこりひょうたん島



1964年から69年までの5年間、放送回数1224回。

日本中の人に愛された「ひょっこりひょうたん島」が目の前に！

ひとみ座の舞台用に書き下ろされた唯一の物語「泣いたトラヒゲの巻」に加え、ひょうたん火山の噴火から漂流を始めて、へんてこな人達が暮らし始めるまでのエピソードをダイジェストで上演。
放送当時のセリフ、生き生きとした人形の操演で、ひょうたん島の世界が目の前でくり広げられます。

「泣いたトラヒゲの巻」



作／井上ひさし・山元護久

演出プラン／雪正一・須田輪太郎

キャラクターデザイン／片岡昌

音楽／宇野誠一郎

声の出演（録音）

ガバチョ／藤村有弘 トラヒゲ／熊倉一雄

サンデー先生／楠トシエ ハカセ／中山千夏

キッド／藤田淑子

「だけどぼくらはくじけない
泣くのはいやだ 笑っちゃおう 進め」
大人と子どもが対等な関係で力を合わせ、
希望を持って前へ進んでいく物語を、
家族三世代で一緒に笑ってお楽しみください。

